

年 間 授 業 計 画

科 目 名	保 健	単位数	1 単位	学年・学科	2 学年 全学科	展 開	必 修
教科書名	保体701（大修館） 現代高等保健体育			副教材名	－		
科目の目標	◇保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための脂質・能力を次のとおり育成する。						
	（１）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。						
	（２）健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。						
	（３）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
学習内容 と進め方	◇講義をはじめ、視聴覚教材を活用した授業、実習、ペアワーク・グループワークを通して、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培い、身につけた知識及び資質や能力を生かして、健康課題の解決を目指していくことを重視した学習活動を展開する。						
学習の留意点	◇生涯を通じて自らの健康をコントロールし、改善していくことができるように、常に自己の実生活と結びつけながら積極的に授業に参加すること。						
	◇学習内容をより深めるため、日頃から新聞やニュースなどを通して健康に関する情報に積極的に取り入れ、保健や健康課題に関心をもつこと。						
月	単 元	予定 時数	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）
				1	2	3	
4	◇オリエンテーション ◇〈3単元〉生涯を通じる健康		➤ 教科の方針・授業内容・評価などについて説明				□定期考査（前期期末・後期期末） □小テスト □学習ノート □レポート課題 □学習活動への参加・取り組み状況 □実習・ペアワーク・グループワーク
5	01 ライフステージと健康	9	ライフステージと死亡や病気／各ライフステージにおける健康課題とその支援	○	○	○	
6	02 思春期と健康		思春期の体と健康／思春期の心と健康				
	03 性意識と性行動の選択		性意識とその尊重／性に関する情報と性行動				
	04 妊娠・出産と健康		受精・妊娠・出産／母子保健サービスの活用				
7	05 避妊法と人工妊娠中絶		家族計画の意義と避妊法／人工妊娠中絶				
8	06 結婚生活と健康	8	結婚生活の基盤となる心身の発達／結婚生活と家族の健康	○	○	○	
	07 中高年期と健康		加齢による変化と健康／高齢者の健康を支える取り組み				
	08 働くことと健康		働くことと健康のかかわり／働き方と健康問題の変化				
9	09 労働災害と健康		労働災害とその要因／労働災害の防止				
10	10 健康的な職業生活		職場における取り組み／仕事と生活の調和				
11	◇〈4単元〉健康を支える環境づくり						
	01 大気汚染と健康	6	大気汚染の原因と健康影響／大気にかかわる地球規模の問題	○	○	○	
	02 水質汚濁、土壌汚染と健康		水質汚濁とその健康影響／土壌汚染とその健康影響／大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわり				
12	03 環境と健康にかかわる対策		環境汚染の防止とその対策／産業廃棄物の処理と健康				
1	04 ごみの処理と上下水道の整備	3	ごみの処理の現状／安全で良質な水の確保	○	○	○	
	05 食品の安全性		食品の安全性と健康／食品の安全性に関する今日的課題				
2	06 食品衛生にかかわる活動		食品の安全性の確保／食品の安全と私たちの役割				
3	07 保健サービスとその活用	5	保健行政の役割／保健サービスの活用	○	○	○	
	08 医療サービスとその活用		医療の供給と医療保険／医療機関と医療サービスの活用				
4	09 医薬品の制度とその活用		医薬品の種類と使用法／医薬品の副作用と安全性を守る取り組み				
5	10 さまざまな保健活動や社会的対策	4	健康を支える保健活動と社会的対策／保健活動や社会的対策への住民の理解	○	○	○	
	11 健康に関する環境づくりと社会参加		健康と環境づくり／環境づくりへの社会参加と情報の活用				
評価方法		（１）評価の観点については、下表に示したとおりとする。					
		（２）定期考査、小テスト、学習ノート、レポート、実習・ペアワーク・グループワーク等の学習活動への取り組み状況や態度などを通して評価する。					
評価の観点	観点	趣旨					
	1. 知識・技能	◇個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。					
	2. 思考・判断・表現	◇健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。					
	3. 主体的に学習に取り組む態度	◇生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けている。					
評価基準	1. 知識・技能	A：個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることが十分にできている。 B：個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることが概ねできている。 C：個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができていない。					
	2. 思考・判断・表現	A：健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けることが十分にできている。 B：健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けることが概ねできている。 C：健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けることができていない。					
	3. 主体的に学習に取り組む態度	A：生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けることが十分にできている。 B：生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けることが概ねできている。 C：生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けることができていない。					